

「オープンソースソフトウェアに関する意識調査」
報告書

< 2006年6月 >

社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
OSS 普及推進研究会

< 調査概要 >

調査目的

社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会に属する会員企業のオープンソースソフトウェアに関する意識を調査し、OSS 普及促進研究会で実施する活動について方向性を検討する資料としての利用を目的としている。

調査対象

社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会に所属する会員企業

対象会員企業数 : 445 社
回答企業数 : 66 社
回答率 : 14.8%

調査方法

FAX、E-mail によるアンケート調査の実施

調査内容

- ・ 回答企業に関する属性 (設問 1~2)
- ・ オープンソースソフトウェアに対する意識 (設問 3~11)

調査期間

2006 年 5 月 17 日 ~ 5 月 31 日

調査実施

社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
OSS 普及推進研究会

<はじめに>

日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 OSS 普及推進研究会では、実施する活動について方向性を検討するため、会員企業のオープンソースソフトウェアの導入および活用に関する意識調査を行いました。

今回はシステムインテグレーション、コンサルティングの業務を行っている企業様からの回答が多く有益なデータを収集できたと思っています。

アンケート結果の全体的な感想は、オープンソースソフトウェア（以下、OSS）に対する抵抗感はほとんどなく、将来的に可能性を持っていると考えていて、多くの企業がOSSを利用しています。OSSのソフトウェアでよく利用されているのが、OS、データベース、アプリケーションサーバのソフトウェアでした。

OSSの課題としてサポート、安全性、対応アプリケーションの充実、保証をあげている企業が多かったです。また、OSSの技術者が不足しているということもアンケート結果からもわかります。今後、OSSを普及させていくのに必要なものとして、コスト面というよりも技術情報、導入実績、安全性というような実用的なものが重要であるという回答が多くありました。OSSも企業の中で重要なシステムに利用され始めているとも考えられます。

逆にOSSを利用しない理由としては、Windowsを利用しているが特に困っていない、Windowsからの脱却ができない、OSSを使う必要性がないなどの回答が多くありました。

アンケートに回答された企業はOSSをすでに利用している企業が多かったので、利用していない企業からの生の声も聞いてみたいと思っています。

アンケート結果を今後の研究会のテーマを決める参考にしていきたいと考えており、そして会員企業様へメリットとなるものを提供したいと思っています。

OSS 普及推進研究会
主査 吉岡弘隆

< 目次 >

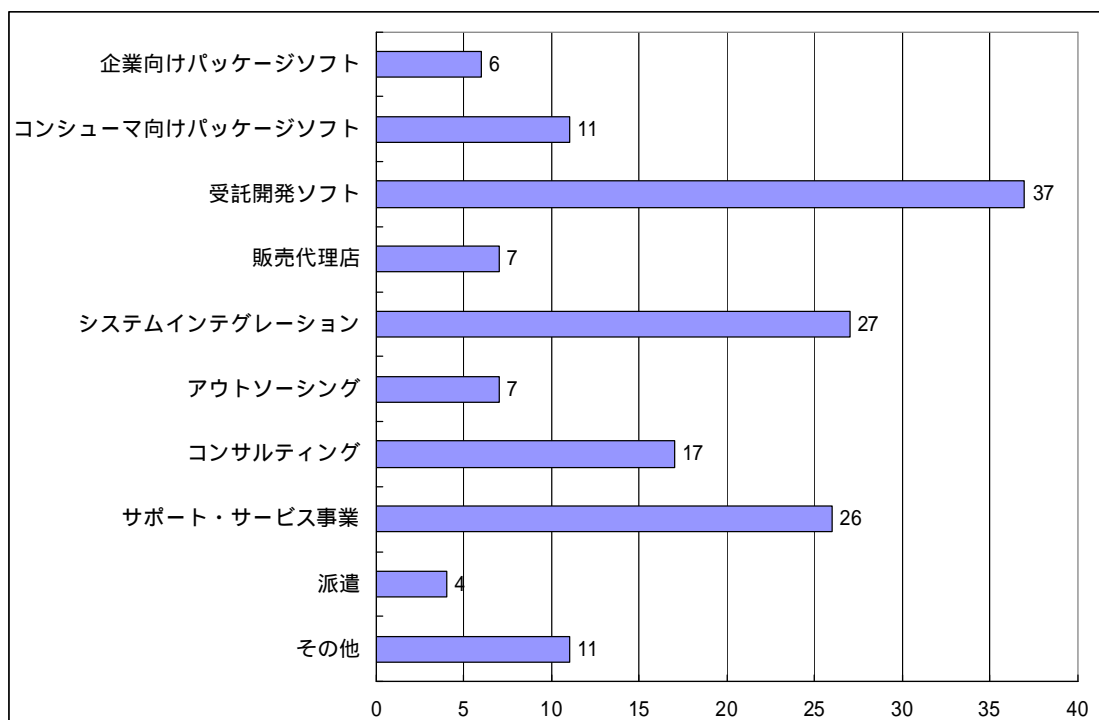
< 調査概要 >	1
< はじめに >	2
< 目次 >	3
< 集計編 >	
設問 1	6
設問 2	7
設問 3	8
設問 4	9
設問 5	10
設問 6	11
設問 7	12
設問 8	13
設問 9	14
設問 10	17
設問 11	18
< 添付資料 > 【調査票】	
調査票	21

< 集 計 編 >

1. 設問1は回答企業の属性についての質問（複数選択回答）である。

設問内容：「回答企業が行う事業領域について」（アンケート総回答数：N = 66）

設問1	回答数
企業向けパッケージソフト	6
コンシューマ向けパッケージソフト	11
受託開発ソフト	37
販売代理店	7
システムインテグレーション	27
アウトソーシング	7
コンサルティング	17
サポート・サービス事業	26
派遣	4
その他	11



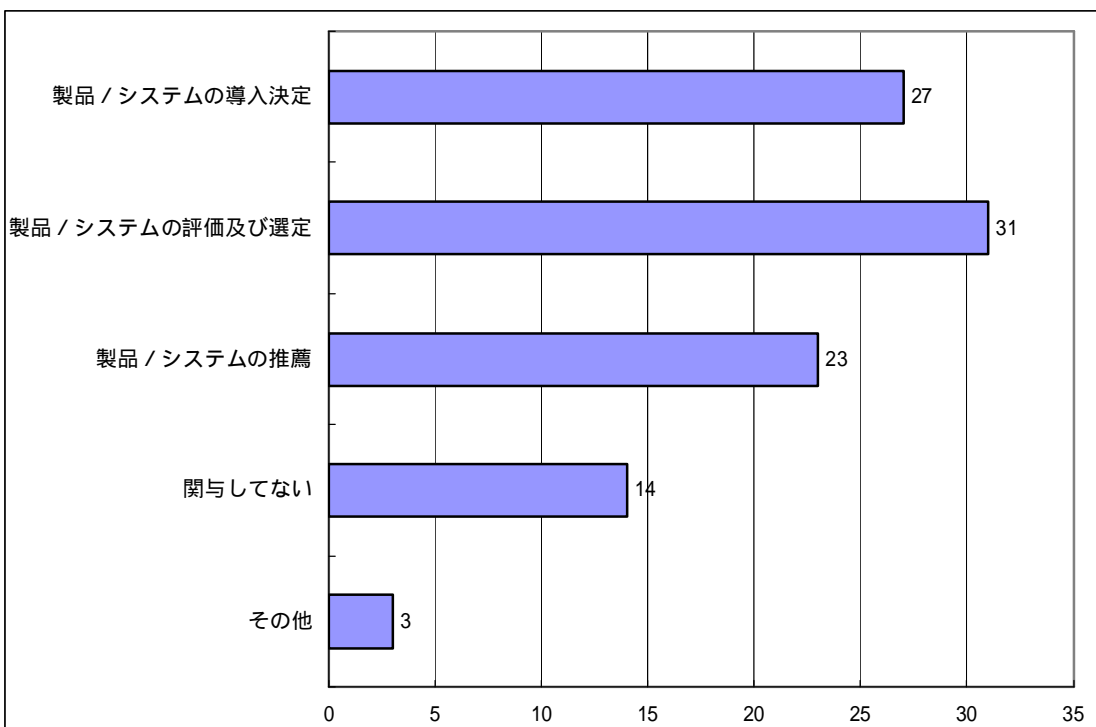
その他には以下の回答があった。

パソコンスクール、通信、人材育成、コンテンツ作成、電子出版流通システム、
教育サービス、公益法人、システム運用業部 / コンテンツサービス、教育

2. 設問2は回答企業の属性についての質問（複数選択回答）である。

設問内容：「回答者の製品/システムへの関与について」（アンケート総回答数：N=66）

設問2	回答数
製品/システムの導入決定	27
製品/システムの評価及び選定	31
製品/システムの推薦	23
関与してない	14
その他	3

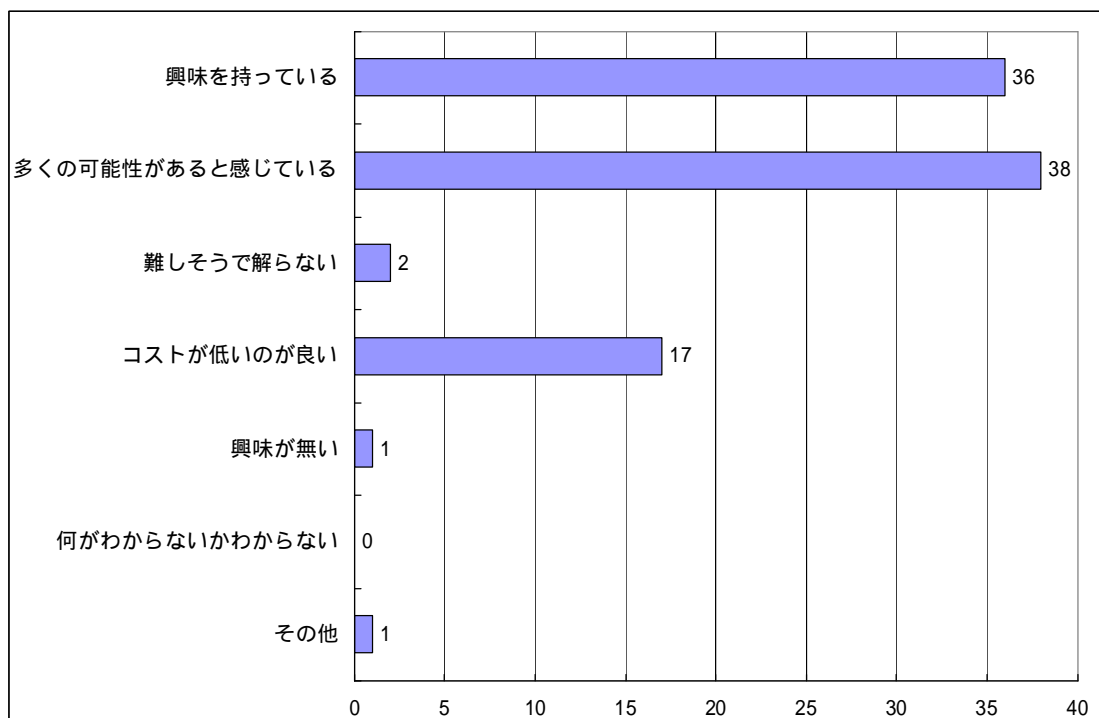


その他には以下の回答があった。

開発、製品/システムの企画、自社製品・サービスの企画/開発/提供

3. 設問3はOSSに対する意識についての質問（複数選択回答）である。
 設問内容：「OSSに対する印象について」（アンケート総回答数：N=66）

設問3	回答数
興味を持っている	36
多くの可能性があると感じている	38
難しそうで解らない	2
コストが低いのが良い	17
興味が無い	1
何がわからないかわからない	0
その他	1



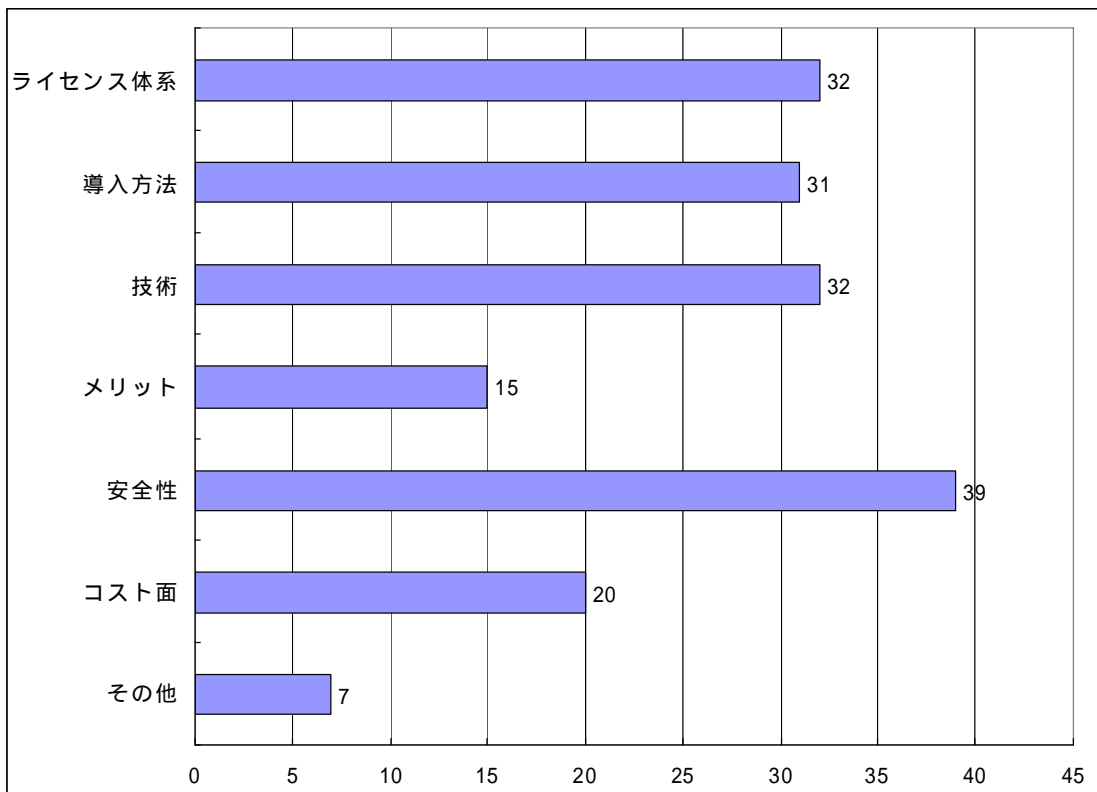
その他には以下の回答があった。

会社全体として日常的に使用している、技術の方向性を具体的にリードしていると感じている

4. 設問4はOSSに対する意識についての質問（複数選回答）である。

設問内容：「OSSに必要と思われる知識について」（アンケート総回答数：N=66）

設問4	回答数
ライセンス体系	32
導入方法	31
技術	32
メリット	15
安全性	39
コスト面	20
その他	7



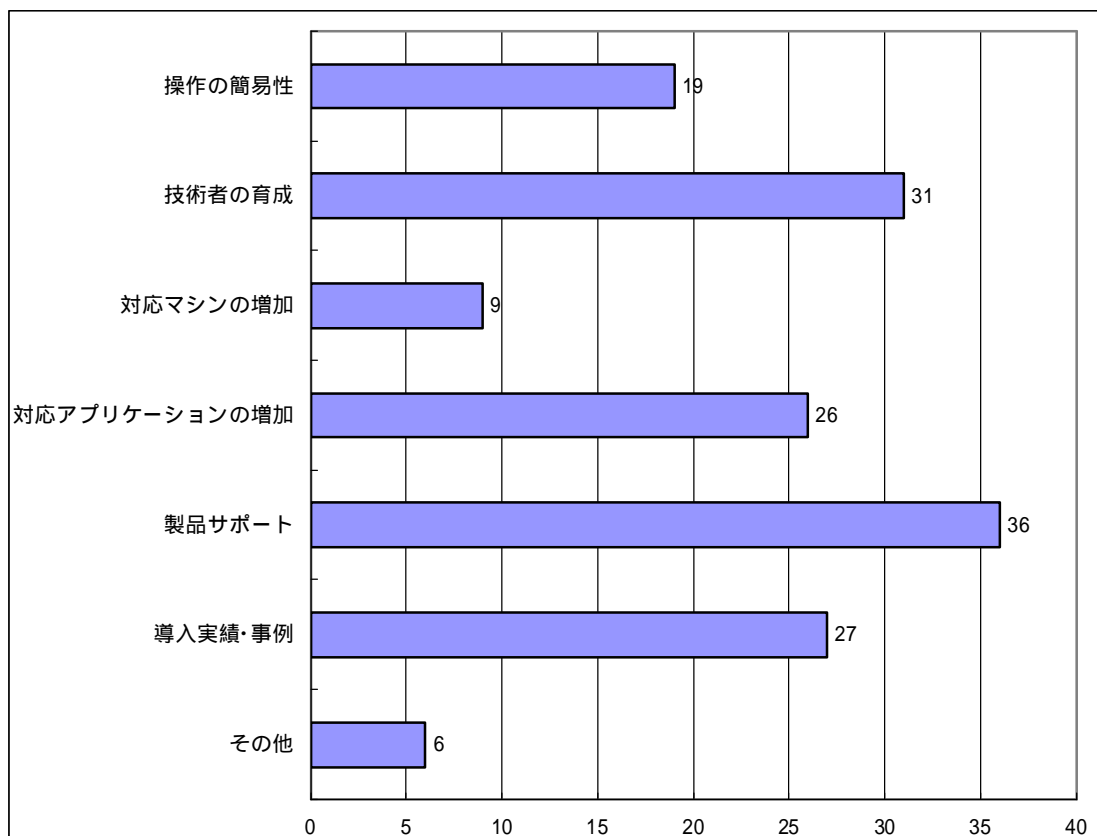
その他には以下の回答があった。

将来にわたる継続性、サポート体制に関する事、法律的な事項（許諾使用保証等）、不具合発生時の保証の問題、サポート継続性

5. 設問5はOSSに対する意識についての質問（複数選択回答）である。

設問内容：「OSS普及に必要なと思われる要因について」（アンケート総回答数：N = 66）

設問5	回答数
操作の簡易性	19
技術者の育成	31
対応マシンの増加	9
対応アプリケーションの増加	26
製品サポート	36
導入実績・事例	27
その他	6



その他には以下の回答があった。

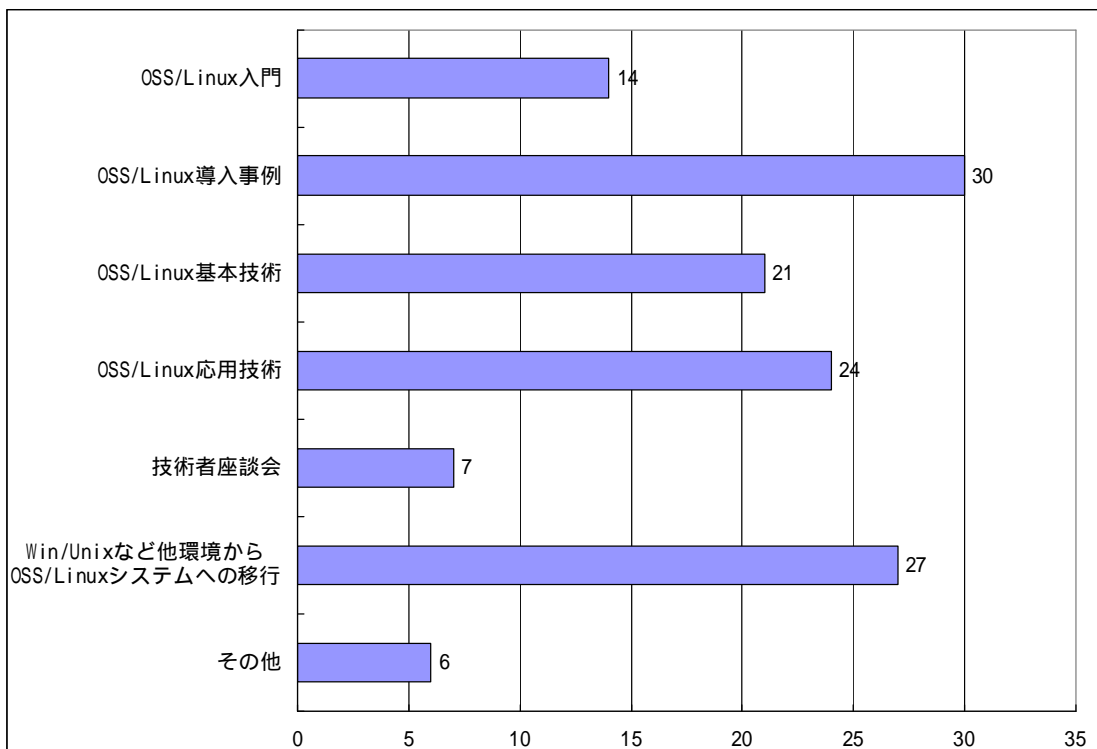
OSSそのものの技術の向上、宣伝、知的所有権と責任（対ユーザ、適用先）保証力、損害賠償の問題、利益にするためのビジネスモデル（大手ベンダーにしか儲けることが難しい）

6. 設問6はOSSに対する意識についての質問（複数選択回答）である。

設問内容：「OSSに関連する研究テーマについて採り上げる必要性の高い項目」

（アンケート総回答数：N = 66）

設問6	回答数
OSS/Linux 入門	14
OSS/Linux 導入事例	30
OSS/Linux 基本技術	21
OSS/Linux 応用技術	24
技術者座談会	7
Win/Unix など他環境から OSS/Linux システムへの移行	27
その他	6



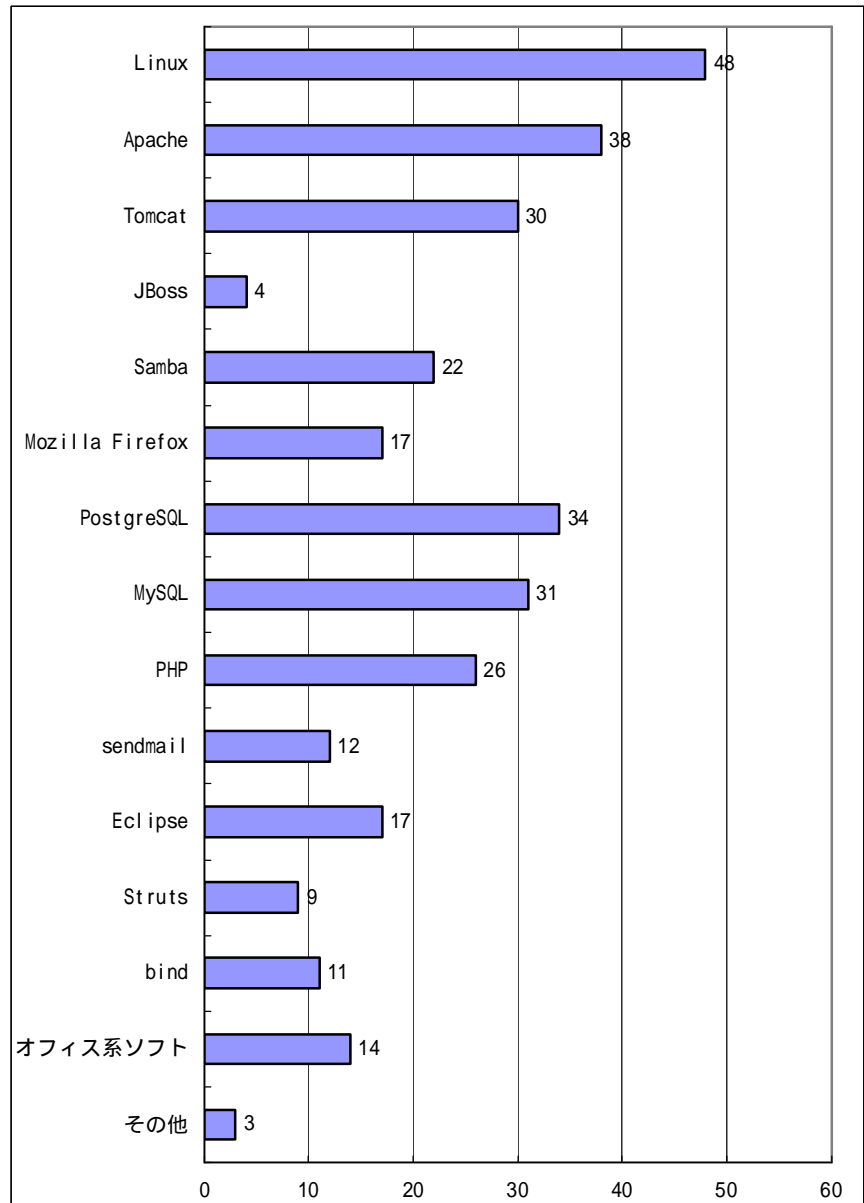
その他には以下の回答があった。

- ・ OS 以外のソフトウェアの導入事例
- ・ WINDOWS ベースでの OSS アプリ
- ・ 法律上の問題、
- ・ 技術は勿論、法的な解釈方法の研究
- ・ Linux だけでなく、OSS の DB/ミドルウェアの具体的内容

7. 設問7はOSSに対する意識についての質問(複数選択回答)である。

設問内容:「OSSで興味を持つ製品について」(アンケート総回答数:N=66)

設問7	回答数
Linux	48
Apache	38
Tomcat	30
JBoss	4
Samba	22
Mozilla Firefox	17
PostgreSQL	34
MySQL	31
PHP	26
sendmail	12
Eclipse	17
Struts	9
bind	11
オフィス系ソフト	14
その他	3



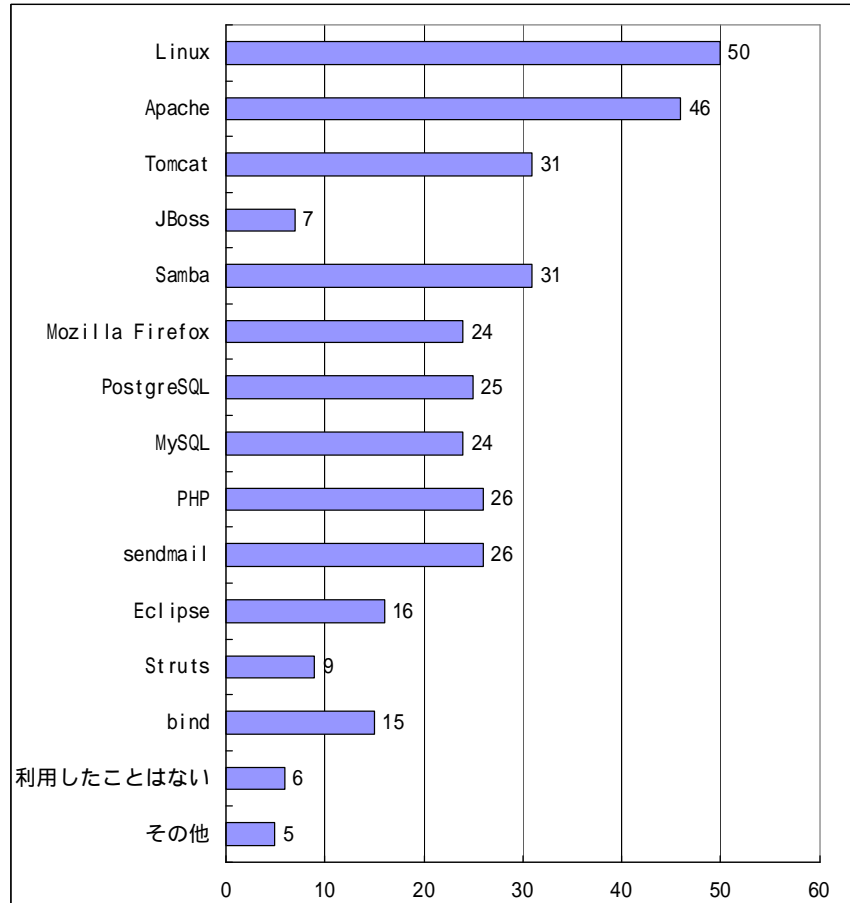
その他には以下の回答があった。

- ・XOOPS
- ・Firebird、XOOPS

8 . 設問 8 は OSS に対する意識についての質問（複数選択回答）である。

設問内容：「OSS で利用経験のある製品について」（アンケート総回答数：N = 66）

設問 8	回答数
Linux	50
Apache	46
Tomcat	31
JBoss	7
Samba	31
Mozilla Firefox	24
PostgreSQL	25
MySQL	24
PHP	26
sendmail	26
Eclipse	16
Struts	9
bind	15
利用したことはない	6
その他	5



その他には以下の回答があった。

OpenSSL、CVS、関与していない、XOOPS、FreeBSD

9 . 設問 9 - 1) は OSS に対する意識についての質問 (記述式) である。

設問内容 : 1) 「設問 8 で回答した利用経験のある OSS 製品の採用理由について」

回答は以下

- ・ 環境として必要なため
- ・ 最も簡単な選択肢だったから
- ・ Windows 製品と同等の機能と統一性、及び実用性があるか確認のため
- ・ 導入事例などが豊富にあるから
- ・ 信頼性、コスト、使い勝手
- ・ 評価を含め、多数の OSS を利用している。当社では理由を考える時代は終了し、優秀な OSS を見付けだし、業務に利用する、さらには改良して配布したり、製品化を踏まえて調査している。
- ・ IE と比較して、攻撃対象になりくいため。
- ・ 簡易 DB を検討していたので
- ・ ソフトウェアへの優れた提案がすぐフィードバックされ、よりよいソフトウェアが作られていくから。
- ・ 導入コストを下げるため
- ・ システム受託開発もとの選定、販売商品 (サーバ) が Linux
- ・ オープンソースで低価格若しくは無料で入手でき、インターネット上にも技術資料等があり導入容易と考えた為
- ・ 世間に広く普及している事、または研究・開発が進んでいる事
- ・ 必要要件のため
- ・ ネット上での技術情報の多さ
- ・ Windows より比較的に安全である。安価である。実績がある。
- ・ 過去の導入実績をみて、安定稼働しているシステムがあったので、蒸気の選択した OSS を使用
- ・ 中小企業ユーザから EC ビジネスの環境構築したいとの要望があった場合、安価で安全な仕組みが作れるから
- ・ 低コスト、コードの素性がわかり、チューニングしやすい、バグフィックスの速さ
- ・ コスト面、利用者数が多い。
- ・ 開発のスピードアップ
- ・ メールソフトの動作に必要であったため
- ・ 低コスト、安全性 (開発者が多い)
- ・ スタンダードであるから
- ・ 「採用」でなく、体験目的の利用
- ・ 顧客の指定
- ・ 技術情報の豊富さ
- ・ 製品の完成度の良さ等

- ・低コスト、汎用性
- ・DNS サーバ用として
- ・Web サーバ等インターネット環境の安価な構築が可能であったため（現在は外部サーバを使用）
- ・初期導入費用の安さ、実績の多さ
- ・導入コスト
- ・信頼性、コストパフォーマンス、特にイニシャルコストの圧縮
- ・オープンソースでコストダウンが図れる。オープンソースだからといっても安全性が問題には感じられなかった。
- ・テストケースとして
- ・コストパフォーマンス
- ・広く普及して言うこと、コスト上でメリットがあること等
- ・導入事例のある OSS については（安定していれば）コスト面でメリットがある事
- ・安い、汎用性がある、そこそこの実績がある
- ・Windows だけに頼ると怖い
- ・一般的に利用されているから、価格面
- ・無償で利用できるので開発コストの低減に繋がるため
- ・組み込み系システムには必須
- ・価格（クライアント数増加の場合のライセンス価格）
- ・低コストでスケジュールを短く出来る様であれば、必ず採用している。

9 . 設問 9 - 2) は OSS に対する意識についての質問 (記述式) である。

設問内容 : 2) 「設問 8 で回答した OSS 製品を利用したことの無い理由について」

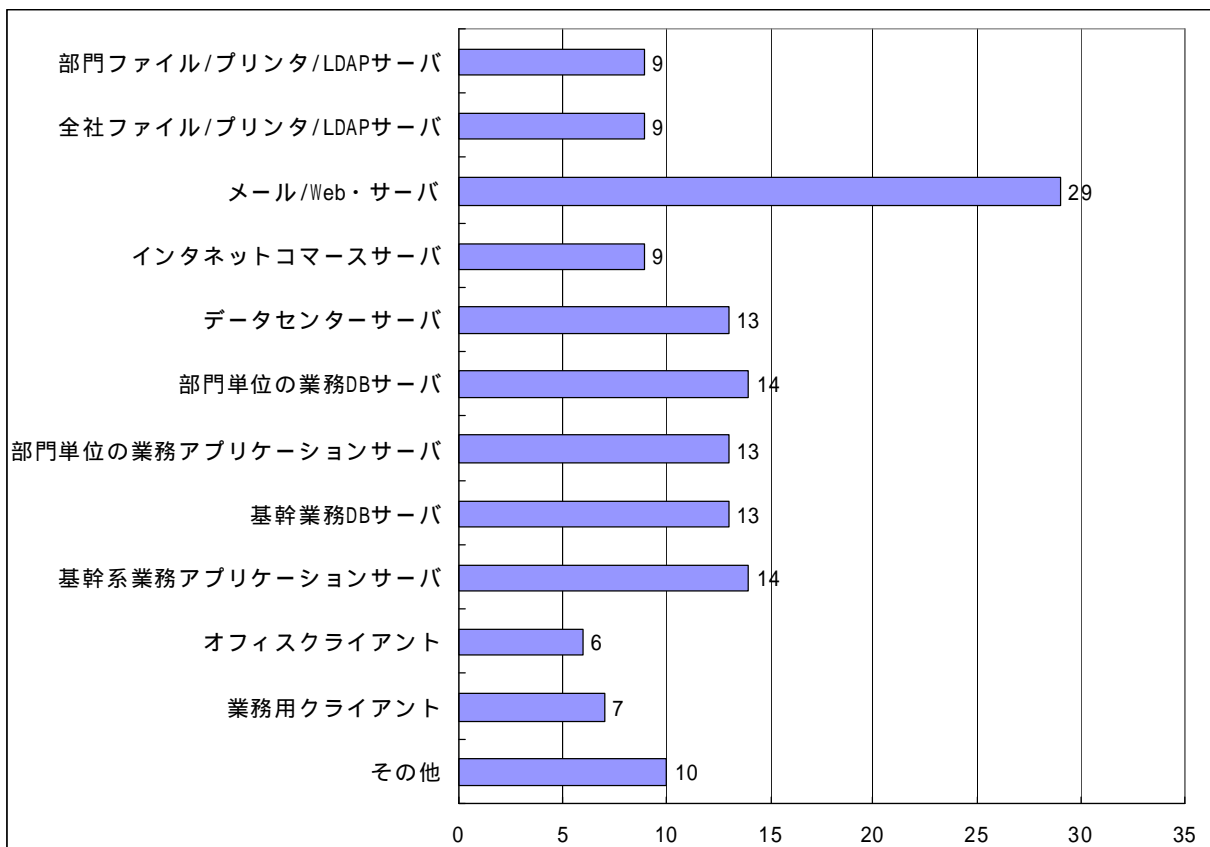
回答は以下

- ・ 必要性を感じないから
- ・ Windows,MAC-OS を利用してスクールを行っているため
- ・ エンドユーザーレベルでの導入率が少ない、企業としても Windows からの脱却が出来ていない
- ・ そのような環境にない、敷居が高い
- ・ 必要ではなかったから
- ・ 必要性が無い
- ・ 特に機会が無かった
- ・ 自分の部署では利用する機会がないため

10. 設問10はOSSに対する意識についての質問（複数選択回答）である。

設問内容：「OSS製品を採用検討しているシステムについて」

設問10	回答数
部門ファイル/プリンタ/LDAPサーバ	9
全社ファイル/プリンタ/LDAPサーバ	9
メール/Web・サーバ	29
インターネットコマースサーバ	9
データセンターサーバ	13
部門単位の業務DBサーバ	14
部門単位の業務アプリケーションサーバ	13
基幹業務DBサーバ	13
基幹系業務アプリケーションサーバ	14
オフィスクライアント	6
業務用クライアント	7
その他	10



その他には以下の回答があった。

- ・ 基幹系業務を除く全分野で常時検討している
- ・ 当社製品に必要なモジュールとして
- ・ 講座用
- ・ 自社製品
- ・ ASPサーバ

11. 設問11はOSSに対する意識についての質問(記述式)である。

設問内容:「OSSに関連して興味あるテーマ等について」

OSSに関連して興味あるテーマ等について以下の回答があった。

- ・OSSの安定度、トラブル回避、データ復旧について
- ・保守運用に多大な労力を要する。ソフト同士が競合してまともに動かない
- ・当社の場合、世界的に著名なOSSを利用するのは勿論だが、実際にソースプログラムを読んだり、プログラムを変更して利用するのは当然で、社員がオープンソースを作り、世界に向けて発信するのを会社として推奨している。
- ・リッチクライアント技術、セキュリティ
- ・OSSを活用したビジネスモデル
- ・OSS/Linuxでのセキュリティ関係
- ・シンクライアントOSとしてのLinuxの可能性について、KNOPPIXを利用した導入事例と課題
- ・基幹業務のOSS移行、セキュリティ
- ・WindowsとOSSについて、ユーザーがシステムに採用するにあたって、適/不適、メリット/デメリットの比較検討すること及びその情報公開
- ・セキュリティ
- ・検討してはいません
- ・興味はあるが実際のユーザーニーズが無い。
- ・Windows/Linuxどちらでも動く(OSを選ばない)OSSアプリケーション
- ・OSS使用者向けの保険(法的なリスクに備えるため)
- ・家電
- ・DB等の性能比較

< 添付資料 >
【 調査票 】

平成 17 年 5 月吉日

会員企業各位

(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
OSS 普及推進研究会 主査 吉岡弘隆

「オープンソースソフトウェアに関する意識調査」ご協力をお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、オープンソースソフトウェア(以下 OSS)普及推進研究会は、平成 18 年度より新たに設置した研究会で Linux をはじめとする様々な OSS 普及のための事例研究及び現状の問題把握並びに各種の情報交換などを行うとともに、最新技術や最新情報を紹介するセミナー・説明会の企画・運営を実施することを目的に活動致します。

本研究会では、活動内容の検討にあたり、会員企業の OSS に対する意識やニーズを踏まえた活動を実施したく考えております。そこで、貴社が OSS に対して抱くイメージなどについてアンケート調査を実施させていただき、その結果を本研究会の活動に反映し会員企業にとって有益な活動にて参ります。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本主旨にご理解を賜り、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件に関するお問い合わせ等につきましては下記の連絡先までお願いいたします。

敬具

回答方法

下記の設問にご回答いただき、FAX にて下記連絡先までご返信下さい。

回答締切り

5月31日(水)必着

本件に関する連絡先

社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 業務課 鈴木(啓)

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-2 秀和溜池ビル 4F

TEL : 03-5157-0785 FAX : 03-5157-0781 E-mail : gyomu@jpsa.or.jp

御社の属性についてお伺いします

設問 1. 御社が対象としている事業について以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

- | | | |
|---------------------------------------|---|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 企業向けパッケージソフト | <input type="checkbox"/> コンシューマ向けパッケージソフト | <input type="checkbox"/> 受託開発ソフト |
| <input type="checkbox"/> 販売代理店 | <input type="checkbox"/> システムインテグレーション | <input type="checkbox"/> アウトソーシング |
| <input type="checkbox"/> コンサルティング | <input type="checkbox"/> サポート・サービス事業 | 派遣 |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |

設問 2. 回答者様の製品・システムへの関与について以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

- | | | |
|---|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 製品 / システムの導入決定 | <input type="checkbox"/> 製品 / システムの評価及び選定 | <input type="checkbox"/> 製品 / システムの推薦 |
| <input type="checkbox"/> 関与していない | <input type="checkbox"/> その他() | |

御社でのオープンソースソフトウェア(以下 OSS)に対する意識についてお伺いします

設問 3. OSS に対してどのような印象をお持ちか以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

- | | | |
|-------------------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> 興味をもっている | <input type="checkbox"/> 多くの可能性があると感じている | <input type="checkbox"/> 難しそうでわからない |
| <input type="checkbox"/> コストが低いのが良い | <input type="checkbox"/> 興味がない | <input type="checkbox"/> 何がわからないかわからない |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |

設問 4. OSS に必要だと思われる知識について以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ライセンス体系 | <input type="checkbox"/> 導入方法 | <input type="checkbox"/> 技術 |
| <input type="checkbox"/> メリット | <input type="checkbox"/> 安全性 | <input type="checkbox"/> コスト面 |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |

設問 5. OSS 普及に必要なと思われる要因について以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

- | | | |
|--|---------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 操作の簡易性 | <input type="checkbox"/> 技術者の育成 | <input type="checkbox"/> 対応マシンの増加 |
| <input type="checkbox"/> 対応アプリケーションの増加 | <input type="checkbox"/> 製品サポート | <input type="checkbox"/> 導入実績・事例 |

その他 ()

設問 6. OSS に関連する研究テーマとして採り上げる必要性の高い項目について以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

OSS / Linux 入門 OSS / Linux 導入事例 OSS / Linux 基本技術
 OSS / Linux 応用技術 技術者座談会
 Windows / Unix など他環境からの OSS / Linux システムへの移行
 その他 ()

設問 7. OSS 製品で興味をお持ちの製品について以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

Linux Apache Tomcat JBoss Samba
 Mozilla Firefox PostgreSQL MySQL PHP sendmail
 Eclipse Struts bind オフィス系ソフト
 その他 ()

設問 8. OSS の中で利用したことがある製品について以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

Linux Apache Tomcat JBoss Samba
 Mozilla Firefox PostgreSQL MySQL PHP sendmail
 Eclipse Struts bind 利用したことはない
 その他 ()

設問 9. 上記、設問 6 において利用した製品を採用した理由についてご記入下さい。
 同時に「利用したことはない」を選択された方はその理由についてご記入下さい。

利用製品の採用理由	
利用したことはない理由	

設問 10. OSS 製品の採用を検討されているシステムにどのような対象があるのか以下の選択肢に「」して下さい。(複数選択可)

部門ファイル/プリンタ/LDAP サーバ 全社ファイル/プリンタ/LDAP サーバ
 メール/web サーバ インターネットコマースサーバ
 データセンターサーバ 部門単位の業務 DB サーバ
 部門単位の業務アプリケーションサーバ 基幹業務 DB サーバ
 基幹系業務アプリケーションサーバ オフィスクライアント
 業務用クライアント
 その他 ()

設問 11. その他、OSS に関連して興味のあるテーマ等がございましたらご自由にご記入下さい。

--

ご協力ありがとうございました。最後に企業名及び部署名/役職名についてご記入下さい。

企業名	
部署名/役職名	

「オープンソースソフトウェアに関する意識調査」報告書

社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-2 秀和溜池ビル 4F

TEL : 03-5157-0780 FAX : 03-5157-0781

禁無断複製、禁無断転載